

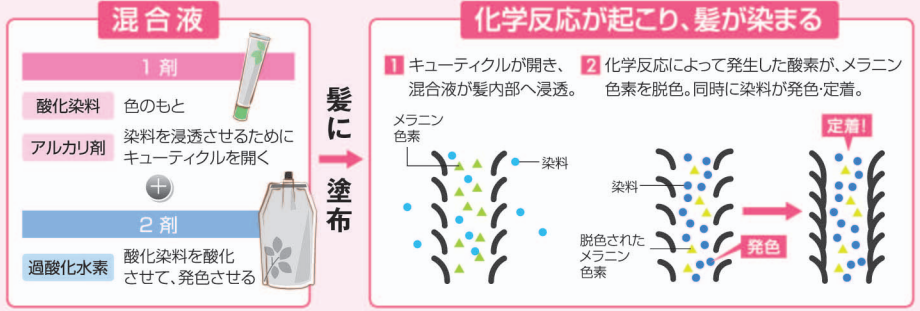
「気になる！」
を解決

カラーの放置時間って どうやって決まるの？



まずはおさらい！

1 髪が染まるしくみ



ここがポイント!

2 放置時間の違いは染料の違いによるもの

1剤に含まれる「酸化染料」の化学反応のスピードが、放置時間の長さに関係しています。

酸化染料に含まれている染料が ジアミン系染料 の場合	酸化染料に含まれている染料が フェノール系染料 の場合
放置時間目安 15-20分	放置時間目安 30-40分
発色スピード 速い	発色スピード ジアミン系染料と比較すると緩やか
染まり方 反応が速いので、髪の外側付近で発色	染まり方 ゆっくりと反応が進み、髪の内部付近まで染まる

気になるダメージの大きさは？

ジアミン系染料 も **フェノール系染料** も、髪への影響はあります。プロによる適切な放置時間をとる施術で、髪へのダメージは最小限に抑えることができます。



私は褪色を避けたいから、髪の内部付近までしっかり染まる、**フェノール系染料** かな？

あなたにあった染料で **希望通りの仕上がり** に！

♡ 安心してカラーを楽しむために ♡
「パッチテスト」をご存知ですか？
お肌が弱い方、カラー後に肌トラブルが起きた経験がある人は、「パッチテスト」を必ず行いましょう！

ヘアカラーお悩み相談室

印象を左右する大切な要素「髪の色」に関するお悩みにお答えします！

今回のテーマ

「ヘアカラーの 放置時間の違い」

なぜサロンごとに放置時間が違うの？

サロンでヘアカラーをして、カラー剤を塗布し終わった後の待ち時間。「前に行ったサロンではもう少し待ち時間が短かったのに…」「いつもより早いけれど、ちゃんと染まっているの？」など、放置時間の長さが気になった経験はありませんか？放置する時間が違ってもしっかり染まるのか、大切な髪に負担がかからないのか、少し心配になったりしますよね。

ヘアカラーをする際の「放置時間」とは、染料が髪の内部に浸透し、色が発色、そして定着するのを待つ時間です。サロンでは髪の状態や発色させたい色味など、様々な条件を考慮して放置時間を決定しています。中でも大きなポイントとなるのが、「染料」の種類の違いです。今回は染料の種類と特徴がもたらす、放置時間の違いについて詳しく解説します。

Column

「髪色」ってどうやって決まるの？

髪の色を左右するのは「メラニン色素」の種類と量の多さです。黒髪には赤褐色のメラニン色素が多く、ブロードの髪には黄褐色のメラニン色素が多いと言われています。また、メラニン色素が大きく、量も多いと、髪はより黒く見えます。

次のページで「放置時間」について詳しく解説！

